

学部・大学院区分	大学院
科目区分	
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズⅡ(ロシア語)
科目名【英語】	Multilingual Skills Ⅱ(Russian)
使用言語	
担当教員【日本語】	タチアナ ヤマザキ ○
担当教員【英語】	YAMAZAKI Tatiana ○
単位数	
開講期・開講時間帯	春 金曜日 4時限
授業の目的 【日本語】	本授業の目的は、基礎レベルのロシア語文法を再確認し、ロシア語の語彙をさらに増やすことである。
授業の目的 【英語】	This course designed for advanced students of Russian. Student will extend their Russian-language skills by practicing dialogues and working on film extracts.
授業の達成目 標【日本語】	本授業の目標は、講師がネイティブであるメリットを有効に使いながら、生きた会話の練習をすることである。
授業の達成目 標【英語】	Students will extend their language skills that they acquired during the first-year course. In this course, they will expand their vocabulary and become more confident in a wide range of communicative skills including self-introduction, daily conversation and exchange of opinions.
教科書	プリント配布
課外学修等	教科書や参考書ないしは文献資料や使用テキストの該当箇所を予習して授業に出席すること。
注意事項	ロシア語の文法表を必ず持参すること。
本授業に関す るWebページ	
担当教員から のメッセージ	隣人、隣国を知るにはまずその言葉を理解することが重要です。受講生は、間違いを恐れずに積極的に授業に臨むことを期待します。人間活動における様々なロシア語の言い回しや慣用句を習得して、中級ロシア語をマスターすることを目指しましょう。
授業開講形態 等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>

学部・大学院区分	大学院
科目区分	
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズI(中国語)
科目名【英語】	Multilingual Skills I(Chinese)
使用言語	日本語、中国語
担当教員【日本語】	虞 萍 ○
担当教員【英語】	YU Ping ○
単位数	
開講期・開講時間帯	春 月曜日 5時限
授業の目的【日本語】	中国語3は中国語1の継続であり、同じ教科書を用い、引続き発音を重点的に練習しながら、中国語の初級段階を総合的に学習し、音声面・文法面・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的能力の養成を目標とする。また、言葉の勉強を通じて、中国社会の現状や中国の人びとのものの見方・考え方などについての理解を深める。
授業の目的【英語】	Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society. This is a course for students who have learned the Chinese language during the autumn semester to develop basic knowledge and operational skills related to Chinese based on a consistent lesson plan.
授業の達成目標【日本語】	1. 基礎単語500語を習得している。 2. 中国語検定準4級レベルの運用力を身につけている。
授業の達成目標【英語】	
教科書	『ペアで学ぼう！中国語』虞萍著 朝日出版社 ISBN978-4-255-45308-8 C1087
課外学修等	・教科書の該当箇所を予習して授業に出席すること。 ・授業で扱った範囲の演習問題を課外学修で消化しておくこと。 ・教科書の本文・例文についてピンイン・声調を正しく発音できるように練習すること。
注意事項	
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	授業上の注意 ・最初の授業でガイダンスを行います。 ・辞書についてはガイダンスで説明します。 ・初級中国語の最重要ポイントは発音です。十分な時間をかけて練習を繰り返します。
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>



学部・大学院区分	大学院
科目区分	
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズI(中国語)
科目名【英語】	Multilingual Skills I(Chinese)
使用言語	日本語ならびに中国語
担当教員【日本語】	蟹江 静夫 ○
担当教員【英語】	KANIE Shizuo ○
単位数	
開講期・開講時間帯	春 木曜日 5時限
授業の目的【日本語】	本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。
授業の目的【英語】	Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society.
授業の達成目標【日本語】	中国語4は、中国語2の継続である。引き続き正しい発音の習得に力をいれながら、“多聴”(たくさん聞くこと)“多説”(たくさん話すこと)を通じて、コミュニケーションの実践力を養成することを目標とする。この授業では、豊富な練習問題により「聞く」「話す」力を伸ばすことを目指す。同時に言語の背景にある文化、歴史、価値観、風俗習慣などについても学ぶ。
授業の達成目標【英語】	This is a course for students who have learned the Chinese language during the spring semester to develop basic knowledge and operational skills related to Chinese based on a consistent lesson plan.
教科書	『中国語ステップバイステップ』荒川清秀著(白水社)
課外学修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の該当箇所を予習して授業に出席すること。</li> <li>・授業で扱った範囲の演習問題を課外学修で消化しておくこと。</li> <li>・教科書の本文・例文についてピンイン・声調を正しく発音できるように練習すること。</li> </ul>
注意事項	・クラス指定
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	<p>授業上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の授業でガイダンスを行います。</li> <li>・参考書、辞書についてはガイダンスで説明します。</li> <li>・初級中国語の最重要ポイントは発音です。十分な時間をかけて練習を繰り返します。</li> <li>・再試験は、定期試験では合格点に達しなかったが、再試験においては合格の可能性があると担当教員が判断した場合に行います。</li> </ul>
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>

学部・大学院区分	大学院
科目区分	他研究科等科目 Courses in Other Graduate School
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズⅡ(中国語)
科目名【英語】	Multilingual Skills II(Chinese)
使用言語	日本語並びに中国語
担当教員【日本語】	劉 欣 ○
担当教員【英語】	LIU Xin ○
単位数	2
開講期・開講時間帯	春 水曜日 3時限 Spring Wed 3

授業の目的 【日本語】	本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。
授業の目的 【英語】	Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society.
授業の達成目標 【日本語】	中国語の基礎力を固め、応用力を伸ばすことを目指す。一年次に学んだ基本的な文法事項を確認し、練習問題等を通して定着させ、平易な文章を読解する力、辞書を活用してやや難度の高い文章を自力で読解する力を養う。同時に、言語の背景にある中国の文化・社会についての理解を深めていく。
授業の達成目標 【英語】	
教科書	随時、プリント教材を配布する。
課外学修等	必要に応じて授業で紹介する
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の該当箇所を辞書を用いて予習して授業に出席すること。</li> <li>・授業で扱った範囲の演習問題を課外学修で消化しておくこと。</li> <li>・教科書の本文・例文についてピンイン・声調を正しく発音できるように練習すること。</li> </ul>
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	<p>授業上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の授業でガイダンスを行います。</li> <li>・参考書についてはガイダンスで説明します。</li> <li>・高度な聴解力、口頭表現力の養成を目指すので、中国語の基礎的な力が身に付いていること、積極的に授業に参加することが受講の条件です。</li> </ul> <p>Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society. The aim of this course is to strengthen the basic skills of the Chinese language and improve its application skills.</p>
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>

学部・大学院区分	大学院
科目区分	
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズI(スペイン語)
科目名【英語】	Multilingual Skills I(Spanish)
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	西村 秀人 ○
担当教員【英語】	NISHIMURA Hideto ○
単位数	
開講期・開講時間帯	春 月曜日 5時限
授業の目的【日本語】	本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。第Ⅱ期(1年秋学期)は、さらに高度な文法事項を理解しながら、ヒアリング能力を高め、言語表現力へとつなげていく。
授業の目的【英語】	This course aims to help students acquire foreign language skills to enrich their knowledge of the world and enhance their cross-cultural understanding. The second-semester course focuses on the higher level of Spanish grammar necessary to develop communicative skills at a basic level.
授業の達成目標【日本語】	1) スペイン語のより複雑な動詞活用(再帰動詞等)や完了、過去、未来といった時制の用法を理解し、身に着ける。 2) スペイン語のもう1つの法である接続法の用法を理解し、身に着ける。 3) 分詞構文や関係節などの複雑な構文の用法を理解し、身に着ける。 4) 過去や未来、接続法を用いて、スペイン語で簡単な会話ができる。
授業の達成目標【英語】	
教科書	志波彰子、西村秀人、水戸博之、渡辺有美『初級スペイン語教本 エクセレンテ!!! (第3版)』(朝日出版社、2015年1月初版) ISBN 978-4-255-55120-3 C1087
課外学修等	必要に応じて授業で示す。
注意事項	
本授業に関するWebページ	<a href="#">スペイン語への招待</a>
担当教員からのメッセージ	一学期スペイン語を学んでみていかがですか。 最初の内は、新たに学ぶ文法事項や語彙でとまどうこともあったかもしれませんが、慣れてくると今度は学習した言葉を使ってみたくなるものです。考えを表現するためには単語や表現を数多く知らなければなりません。このようなとき和辞典の出番です。また旅行中など外出先では、機動力のある西和辞典や電子辞書が威力を発揮します。 《和辞典》本格的な中規模辞典では次の2点がある。 *『小学館 和事典』(小学館 2014年)見出し語5万5000。口語表現の文例などを豊富に収載、日本文化を伝えるために必須の生活語も収録。 *『クラウン和辞典』(三省堂 2004年)見出し語は約3万で『グランドセンチュリー和英辞典』に依拠。スペイン語圏の地域差や文体差、類義語検索などに新機軸が見られる。 《電子辞書》英語・国語系の辞書との連動がある程度可能。コンテンツは白水社『現代スペイン語辞典』『和辞典』、小学館『西和中辞典』である。 *カシオEX-word 電子辞書 スペイン語モデル XD-N7500, XD-U7500 *セイコーインスツル 電子辞書 DAYFILER デイファイラー DF-X7000ES *SHARP 電子辞書 PW-M100 など *Appleの辞書アプリ『西和中辞典・ポケプロ和辞典』も非常に使いやすい。無料の西和辞典アプリもあるが、女性名詞・男性名詞の記載がないなど、初学者には少し使いにくい。
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>



学部・大学院区分	大学院
科目区分	
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズI(スペイン語)
科目名【英語】	Multilingual Skills I(Spanish)
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	P. Apaza O
担当教員【英語】	APAZA Pablo O
単位数	
開講期・開講時間帯	春 木曜日 5時限

授業の目的 【日本語】	本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相适应しい教養を育むことが目的である。 第Ⅱ期(1年秋学期)は、さらに高度な文法事項を理解しながら、ヒアリング能力を高め、言語表現力へとつなげていく。
授業の目的 【英語】	This course aims to help students acquire foreign language skills to enrich their knowledge of the world and enhance their cross-cultural understanding. The second-semester course focuses on the higher level of Spanish grammar necessary to develop communicative skills at a basic level.
授業の達成目標 【日本語】	1) スペイン語のより複雑な動詞活用(再帰動詞等)や完了、過去、未来といった時制の用法を理解し、身に着ける。 2) スペイン語のもう1つの法である接続法の用法を理解し、身に着ける。 3) 分詞構文や関係節などの複雑な構文の用法を理解し、身に着ける。 4) 過去や未来、接続法を用いて、スペイン語で簡単な会話ができる。
授業の達成目標 【英語】	
教科書	志波彩子、西村秀人、水戸博之、渡辺有美『初級スペイン語教本 エクセレンテ!!!』(第3版) (朝日出版社、2015年1月初版) ISBN 978-4-255-55120-3 C1087
課外学修等	必要に応じて授業で示す。
注意事項	
本授業に関するWebページ	<a href="#">スペイン語への招待</a>
担当教員からのメッセージ	<p>&lt;スペイン語学習を発展・活用させるために:参考書・検定試験&gt;          ここでは一般的な事典と検定試験を紹介します。学習書・文法書・文学・歴史・政治・経済・社会・音楽・サッカー・新聞・放送など各分野の詳細や、他の資格試験については、遠慮なく私たち教員にお尋ねください。</p> <p>*『新版 ラテンアメリカを知る事典』(平凡社 2013年)百科事典の体裁をとっており、やや専門的な記述もあるが、各地域のスペシャリストが担当して執筆しており、読者それぞれの興味に応じた引き方、読み方ができる。</p> <p>*検定試験          「西検」として知られるスペイン語技能検定試験は文部科学省の認定を受けており、この試験によって取得した資格は公認スペイン語能力としてあらゆる場で通用する。          西検は1級から6級に分かれており、6級なら1年終了程度で充分受験可能である。教科書のApendiceまで進めば文法的には4級まで対応できるであろう。          試験は、年2回、6-7月と11-12月に行われる。本学生協南部書館店で申し込みができ名古屋でも受験が可能である。資格を身につけたい人はもちろん腕だめしがいという人も気軽に受けてみてはいかがだろうか。          DELEの名称で知られる「外国語としてのスペイン語検定試験」はスペイン文部省の認定するスペイン語能力試験で、日本ではセルバンテス文化センターが行っており、5月と11月に試験があり、名古屋でも受験可能である。国際的な信頼性は高いが、費用面も考えてどちらがいいか考えてみてほしい。          いずれも級によっては、授業の単位として認められる。</p>
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>

学部・大学院区分	大学院
科目区分	随意科目 Optional Subject
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズⅡ(スペイン語)
科目名【英語】	Multilingual Skills II(Spanish)
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	宮下 克子 ○
担当教員【英語】	MIYASHITA Katsuko ○
単位数	2
開講期・開講時間帯	春 水曜日 4時限 Spring Wed 4

授業の目的 【日本語】	この授業の目的は、専門的学習のツールとしてのスペイン語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会で活躍する人材にふさわしい教養を身に着けることである。履修登録前に、メールにて私に連絡してください。
授業の目的 【英語】	The aim of this course is to help students acquire the necessary skill of Spanish language as a study tool of their specialized field and knowledge needed to deepen the understanding of different cultures.
授業の達成目標 【日本語】	この授業の終了時には、基礎文法を復習しながらの学習により、読解、作文、会話の総合的な力を身に着けスペイン語圏の人々とコミュニケーションをとり、その文化を理解できる能力を身に着ける。
授業の達成目標 【英語】	At the end of the course, participants are expected to acquire the comprehensive skill of reading, composition and conversation, needed to communicate with spanish speaking people and to obtain the ability to understand their culture.
教科書	iNos gusta! 2(Gramática para hablar) (発見！大好き！！スペイン語！！ 2) 朝日出版社 ビラル・ラゴ、コンチャ・モレノ、落合佐枝 著 読み物に関しては、必要な時に、教員が準備する。
課外学修等	中級スペイン語文法 山田善郎 白水社 Cuéntame, 8 historias para disfrutar aprendiendo español. 「クエンタメ」朝日出版社 2017年
注意事項	授業の中で、説明しながら問題を解いていくが、より正確にまた迅速に解答できるように、予習しておくことを推奨する。また、各課で与えられたテーマについての自由作文は、授業で学んだことを参考として、あらかじめ辞書を用いて書いてくることを勧める。 読み物は、前の授業時にプリントを配るので、家で読んでくることを勧める。
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	The purpose of this course is to help students improve their foreign language proficiency, understand foreign cultures, and acquire the knowledge required in a globalized society. By this class, we aim to obtain the comprehensive faculty of reading, understanding, composition, and conversation while reviewing the basic Spanish grammar.  刻々と変化する世界情勢の中で、スペイン語及び、ラテンアメリカ諸国など、スペイン語が話されている国々の重要度はますます大きくなりつつある。 スペイン語の習得を目指す人たちは、第一にスペイン語圏の人々とスペイン語で話し、交流することを望むであろう。しかしながら、それだけでは足りないのではないのか。 スペイン語で書かれたものを注意深く読むことで、そこに住む人々の文化、習慣、伝統などに親しみ、そうした国々をより深く知ることができる。大学で、できるだけ多くの言語を学んでおくことは、とても有意義である。すでに学習した文法を基本とし、復習をしながら、さらなるステップに進むことで、より大きな果実を得ることができるのは間違いない。 是非とも、初級文法の学習だけで満足することなく、学習を続けることを願う。
授業開講形態等	

学部・大学院区分	大学院
科目区分	他研究科等科目 Other Graduate Schools Courses
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズI(朝鮮・韓国語)
科目名【英語】	Multilingual Skills I(Korean)
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	権 恩熙 ○
担当教員【英語】	KWON Eunhee ○
単位数	1.5
開講期・開講時間帯	春 月曜日 5時限 Spring Mon 5

授業の目的 【日本語】	本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。
授業の目的 【英語】	Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society.
授業の達成目標 【日本語】	この授業は朝鮮・韓国語1・2を受講した学生を対象としたものであり、朝鮮・韓国語の基礎を固めることをねらいとする。授業を通じて、この言語の読み書きを確実なものとするとともに、様々な表現を身に付け、朝鮮・韓国語で簡単な意思疎通ができるようになることを目指す。
授業の達成目標 【英語】	
教科書	長谷川由起子・張ユンヒャン『コミュニケーション韓国語 聞いて話そうII』（白帝社）ISBN: 978-4-86398-210-9
課外学修等	予習:教科書の該当箇所を予習して授業に出席すること(新出単語の発音と意味を調べるなど) 復習:授業で扱った範囲の演習問題を消化しておくこと。
注意事項	
本授業に関するWebページ	<a href="http://korean.ilas.nagoya-u.ac.jp/">http://korean.ilas.nagoya-u.ac.jp/</a>
担当教員からのメッセージ	
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>



学部・大学院区分	大学院
科目区分	他研究科等科目 Other Graduate Schools Courses
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズI(朝鮮・韓国語)
科目名【英語】	Multilingual Skills I(Korean)
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	李 惠敏 ○
担当教員【英語】	LI Huimin ○
単位数	1.5
開講期・開講時間帯	春 木曜日 5時限 Spring Thu 5

授業の目的 【日本語】	本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。
授業の目的 【英語】	Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society.  This course is designed for new learners of Korean.
授業の達成目標 【日本語】	この授業は朝鮮・韓国語をはじめて学ぶ学生を対象としたものであり、朝鮮・韓国語の基礎の習得をねらいとする。授業を通じて、この言語の正しい発音を身に付け文字を読み書きできるようになるとともに、文法と会話の基礎を習得することを目指す。
授業の達成目標 【英語】	
教科書	金順玉・阪堂千津子『最新チャレンジ！韓国語』白水社 ISBN: 978-4-5600-1789-0
課外学修等	教科書およびオンラインコンテンツにより、毎回の学習内容をよく復習すること。学習事項の確認のため、ほぼ毎回の授業のあとに、課題・小テストのいずれか(またはその両方)を課す。
注意事項	辞書(電子辞書も可)を各自購入し、毎回の授業で持参すること。 なお、朝鮮・韓国語学習に関する情報は以下のウェブページに掲載されることがあるほか、Twitter(@meidai_korean)にも情報が掲載されることがある。
本授業に関するWebページ	<a href="#">名古屋大学の朝鮮・韓国語</a>
担当教員からのメッセージ	
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>

学部・大学院区分	大学院
科目区分	他研究科等科目 Other Graduate Schools Courses
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズⅡ(朝鮮・韓国語)
科目名【英語】	Multilingual Skills II(Korean)
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	宇都木 昭 ○
担当教員【英語】	UTSUGI Akira ○
単位数	2
開講期・開講時間帯	春 火曜日 1時限 Spring Tue 1

授業の目的 【日本語】	本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。
授業の目的 【英語】	Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society.  This course is designed for intermediate learners of Korean.
授業の達成目標 【日本語】	朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養う。
授業の達成目標 【英語】	
教科書	長谷川由起子・張ユンヒャン『コミュニケーション韓国語 聞いて話そうⅡ』（白帝社）ISBN: 978-4-86398-210-9 （電子教科書または紙媒体の教科書）
課外学修等	毎回の学習内容をよく復習すること。学習事項の確認のため、ほぼ毎回の授業のあとに、課題・小テストのいずれか（またはその両方）を課す。
注意事項	辞書（電子辞書も可）を各自購入し、毎回の授業で持参すること。 なお、朝鮮・韓国語学習に関する情報は、以下のウェブページやTwitter(@meidai_korean)に掲載されることがある。
本授業に関するWebページ	<a href="#">名古屋大学の朝鮮・韓国語</a> <a href="#">名古屋大学の朝鮮・韓国語:オンライン学習サイト</a>
担当教員からのメッセージ	
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>

学部・大学院区分	大学院
科目区分	
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズⅡ(イタリア語)
科目名【英語】	Multilingual Skills Ⅱ(Italian)
使用言語	
担当教員【日本語】	柴田 有香 ○
担当教員【英語】	SHIBATA Yuka ○
単位数	
開講期・開講時間帯	春 木曜日 5時限
授業の目的【日本語】	本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。
授業の目的【英語】	Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society.
授業の達成目標【日本語】	実践的な日常会話を題材にイタリア語の基本的な仕組みや表現を学習し、初級イタリア語としての「聞く」「話す」「読む」「書く」力をしっかりと身につけていく。 基礎を積み重ねていくことにより会話の幅が徐々に広がり充実していく感覚を実感しながら、イタリア語の入門編を習得する。
授業の達成目標【英語】	
教科書	『ビュ・アッティエヴォ!』(改訂版) 和栗珠里 磯絵里著 白水社 ISBN978-4-560-01787-8
課外学修等	復習をしっかりとし、次の授業に備えること。
注意事項	疑問点があれば積極的に質問し、活気ある授業にしましょう。
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	This course introduces the basic knowledge of grammatical structure and expressions in Italian to students, using the textbook on practical daily conversation topics to develop elementary-level speaking, listening, reading and writing skills. 新たにチャレンジする言語が少しずつ使えるようになってきたと実感できた時の達成感や喜びは、さらなる好奇心また関心へと導いてくれます。イタリア語の学習を通して新たな扉を開いてください。
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>



学部・大学院区分	大学院
科目区分	他研究科等科目 Other Graduate Schools Courses
科目名【日本語】	マルチリンガル・スキルズⅡ(ポルトガル語)
科目名【英語】	Multilingual Skills II(Portuguese)
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	FERRARI Felipe ○
担当教員【英語】	FERRARI Felipe ○
単位数	2
開講期・開講時間帯	春 金曜日 1時限 Spring Fri 1

授業の目的 【日本語】	日本は、1895年にブラジルと外交関係を樹立しましたが、ポルトガル人は1543年に初めて日本に上陸したので、日伯関係(日本-ブラジル間の交流関係)の歴史は450年以上に渡ると言えます。 現在、ブラジルには世界最大の日系人居住地(約150万の日系ブラジル人がいます)です。同時に、日本には約20万人のブラジル人が住んでおり、ここ東海地方には多くの集住地域があります。 講義の目的はブラジル・ポルトガル語の発音や表現を練習しながら、文法の基礎を学びます。ブラジルの文化、音楽や歴史を通じて、ポルトガル語を使い、挨拶と基本的な会話ができるようになります。
授業の目的 【英語】	Japan established diplomatic relations with Brazil in 1895, however since the Portuguese first set foot in Japan in 1543, one can say that the relationship between the two countries is over 450 years long. Nowadays, Brazil has the largest Japanese community in the world (with about 1.5 million Japanese-Brazilians). At the same time, there are about 200 thousand Brazilians living in Japan, most of them here, in the Tokai area. The purpose of this lecture is to learn the basics of Brazilian Portuguese grammar while practicing the pronunciation and expressions of the language. Throughout Brazil's culture, music and history, you will learn how to do the greetings and engage in basic conversations using the Portuguese language.
授業の達成目標 【日本語】	ポルトガル語の発音を習得し、すぐにでも実践の場で生かせるような平易な会話能力を身につけ、ポルトガル語話者とコミュニケーションが出来ること。
授業の達成目標 【英語】	To become able to communicate with speakers of Portuguese language by learning it's pronunciation and acquiring simple conversation skills that can be put to practical use as soon as possible.
教科書	『ブラジルポルトガル語を話そう!改訂版』重松由美(著)・瀧藤千恵美(著)・Felipe Ferrari(著)、朝日出版社、ISBN 978-4-255-55505-8
課外学修等	毎回の講義で配布した資料をしっかりと読んで、授業で出された課題や宿題を行う(毎週約60分)。
注意事項	
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	ポルトガル語を勉強しながら、他国の文化を楽しく学びましょう!
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>

学部・大学院区分	大学院
科目区分	他研究科等科目 Courses in Other Graduate School
科目名【日本語】	プロフェッショナル・リテラシー
科目名【英語】	Professional Literacy
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	松浦 好治 ○
担当教員【英語】	MATSUURA Yoshiharu ○
単位数	1
開講期・開講時間帯	春 その他 その他 Spring Other Other

授業の目的 【日本語】	名古屋大学大学院の教育は、高度な学術能力と専門家として求められる汎用的な技能の両方の育成を重視しています。この授業では、名古屋大学大学院が専門家として求められる汎用的な技能(PhDスキル)の重要性と基礎を学びます。授業を通して、学生が分野を超えた協働に従事し、専門の異なる人々と十分にコミュニケーションをすることができ、国内外でリーダーシップを発揮することのできる能力と資質を高めることを目的としています。
授業の目的 【英語】	The graduate program of Nagoya University emphasizes the importance of training in higher academic and professional abilities. This course focuses on higher professional abilities that are transferrable to any professional task (PhD Skills). Participants understand the importance of PhD Skills and learn some core skills. Students will enhance the abilities and qualities to be engaged in cross-border collaboration, good communication with professionals from diverse disciplines, and leadership behavior in and out of the country.
授業の達成目標 【日本語】	学生は、自律、思考、提案、協働に関する技能が専門家としての人生にどのような意義を持っているかを学び、その技能を高めるための機会や訓練機会を把握し、長期的継続的な技能向上プログラムをみずから大学院の研究生生活の中に組み込んでいく発想方法を身につけるきっかけにすることができます。
授業の達成目標 【英語】	
教科書	NUCTに掲載されている講義資料を学習してください。 The course materials are available from the NUCT system.
課外学修等	各回の講義では、課題の提出が求められます。調査検討のうえ、課題を提出してください。 There are some assignments in each class. You will submit the assignments as instructed.
注意事項	講義資料は、NUCT上で公開します。NUCTにてプロフェッショナル・リテラシー2～8を受講し、各講義のリフレクションシートを提出の上、博士課程教育推進機構( <a href="https://dec.nagoya-u.ac.jp/">https://dec.nagoya-u.ac.jp/</a> )マイページから最終レポートを提出してください。リフレクションシートと最終レポートの提出方法などについては、NUCT掲載のマニュアルを確認してください。  本科目は、受講前の所属研究科における履修登録は不要です。 NUCTで講義サイトの登録を行ってください。 上記1、2を最初に受講することを推奨しますが、履修順序は問いません。  The lecture materials will be uploaded to NUCT. Please take Lectures 2-8, submit all the Reflection Sheets, and a final report from "My Page" on HP of Doctoral Education Consortium( <a href="https://dec.nagoya-u.ac.jp/">https://dec.nagoya-u.ac.jp/</a> ). About details on how to submit the Reflection sheet and Final report, please confirm the manual posted on NUCT.  There is no need for you to register for this course at your own graduate school in advance. However, you need to join the lecture sites on NUCT. The DEC recommends you to start with lectures 1 and 2, but there is no particular order for taking the lectures.
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	社会は、大学院の修了者に対して、高度な学術能力だけでなく、専門家として求められる汎用的な技能の習得を期待しています。名古屋大学がPhDスキルと呼ぶ汎用的な技能群の習得には、継続的な努力と自分の専門以外の専門家や国内外の人々との交流機会が極めて重要です。この講義は、学生がPhDスキルを磨く多様な機会の存在を明らかにし、技能を多様な専門家との交流の中で高めていくための俯瞰図を提供しようとしています。 大学院の生活は、間違いなく多忙であり、精神的緊張が必要な作業と不可分です。その多忙な生活の中で、時間を作り、汎用的なPhDスキルを高めることは、自分を将来の職場で生かすことにつながります。この講義を通して、専門家の多様性に触れてください。  Current global society expects degree holders of higher education to have both high academic abilities and outstanding professional abilities. Nagoya University named transferrable professional skills "PhD Skills." The mastery of PhD Skills needs continuous efforts and broad encounters with professionals from various professions in and out of the country. This course intends to identify opportunities for students to learn PhD Skills and to show the way to improve their skills through interaction with competent professionals. The life of a graduate student is busy and demanding. Students must maintain a high concentration for research and collaboration. It is critical to make time to improve PhD Skills for good professional life in the future. This course will introduce you to multifaceted professionals.

授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>
---------	---



学部・大学院区分	大学院
科目区分	
科目名【日本語】	海外PhDスキル研修Ⅰ
科目名【英語】	Overseas Training of PhD SkillsⅠ
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	松浦 好治 ○
担当教員【英語】	MATSUURA Yoshiharu ○
単位数	
開講期・開講時間帯	集中 その他 その他
授業の目的【日本語】	<p>2021年度はオンラインでの開講となる可能性があります。 授業内容に関する詳細は、博士課程教育推進機構HPの最新情報「授業研修(<a href="https://bit.ly/3kSBShQ">https://bit.ly/3kSBShQ</a>)」の2021年3月8日の投稿をご覧ください。</p> <p>大学院の教育は、専門的研究者として国内外で活動する人生につながります。その場合、研究能力に加えて、professionalな活動に参加し、各種のプロジェクトで自分の能力を生かす能力を身につける必要があります。この講義の受講者は、海外研修を活用して、汎用的技能であるPhDスキルの向上を目指します。名古屋での事前研修と海外(欧米、アジア等)での実地研修を通して、海外でのインターンシップ、研究、学位取得等につながる基礎能力を訓練します。(参加者の海外展開への導入科目です。)</p>
授業の目的【英語】	<p>There is a possibility that this course will be held on-line in the 2021 academic year. For more information about contents of the course, please take a look at the post of news on website of the Doctoral Education Consortium(<a href="https://bit.ly/3kSBShQ">https://bit.ly/3kSBShQ</a>) on 8th March, 2021.</p> <p>After completing a graduate program, many of you will be engaged in professional work in and out of the country. You can perform the work more effectively if you combine transferrable professional skills (PhD Skills) with academic skills. Participants of this course enhance their professional skills through overseas learning opportunities. The course consists of pre-departure and after-return learning in Nagoya, followed by overseas (Asia, Europe, and the United States). Participants improve their professional skills to do a good internship, research, and degree work overseas. (This course is an introduction to the training of skills for overseas work.)</p>
授業の達成目標【日本語】	<p>受講者は、海外研修出発前に十分な準備ができる技能(例えば、研修先の国情を調査し、人脈づくりを行い、必要なデータを国境を越えて活用する環境を構築するなど)を学び、海外研修先で海外展開力を高める体験を積み上げ(例えば、大学間協定校での授業聴講等を通して外国語能力を高め、外国語を使ってグループ活動に参加し、現地学生との交流を行い、キャリア形成(日系企業訪問等)の体験を深め、更に独自の研修計画を立案・実施するなど)、その成果を今後に生かす立案能力を伸ばします。</p>
教科書	<p>海外研修に有益な情報を自分のPCに構築し、必要な情報を英語で調査するための訓練を行います。さらに必要なreferenceについては、授業の</p>

学部・大学院区分	大学院
科目区分	他専攻等科目 Other Major Courses
科目名【日本語】	体験型講義「リーダーシップ」
科目名【英語】	Workshop for Leadership Development
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	栗本 英和 ○
担当教員【英語】	KURIMOTO Hidekazu ○
単位数	2
開講期・開講時間帯	集中 その他 その他 Intensive Other Other

授業の目的 【日本語】	<p>リーダーは未来を拓く牽引者として、学術界だけでなく産業界、経済界、官界、医療機関、研究教育機関ほか非営利団体など業種や業態を超えて求められています。しかしながら、そのリーダー像と行動様式(リーダーシップ)は、必ずしも明確でないため、勘と経験と度胸と呼ばれる、現場での実践型訓練(OJT教育)が行われています。</p> <p>体験型講義は、研究分野の枠組を超えて求められる、リーダーシップ、マネジメント、チーム・ビルディング等に関する基本概念を体験を通して習得すると同時に、事例分析や比較分析を通して基本知識を体系的に学修することを目的とします。</p>
授業の目的 【英語】	<p>Leaders are needed as the driving force to shape the future of an organization, not only in academia, but also across industries and sectors, such as industrial, financial and government sectors, medical and research institutions, as well as not-for-profit organizations. Nevertheless, as the image of such a leader and his/her behavioral patterns (leadership) are not always clearly defined, leaders are trained on the job (OJT education) in the field, where one must rely on his/her intuition, experience and courage (called "Kan-to Keiken-to Dokyo" in Japanese).</p> <p>This hands-on course enables students to acquire, through their experience, some foundational concepts that are relevant across different research areas, such as leadership, management, team building etc. At the same time, this course aims for the students to systematically acquire such foundational body of knowledge with the use of case studies and comparative analyses.</p>
授業の達成目標 【日本語】	本講義では、真の勇気と真の知性を備え、論理的思考力と想像力に富んだ牽引者として、価値を創造し、現実解を創出するための基盤となる資質・能力を醸成します。
授業の達成目標 【英語】	This course will foster student competency or capacity that provides the fundamentals for creating value and real solutions as leaders with true courage, true intellect, the power of rational thought, and imagination.
教科書	<p>講義のなかで示します。</p> <p>Indicated during the lecture.</p>
課外学修等	<p>講義で扱うマネジメントやシステムに関する用語及び概念を事前に調べ、準備をしておく。学修活動を通して身につけた資質・能力を、所定のワークシートを用いてアセスメントする。</p> <p>Participants are encouraged to make a preliminary investigation or inquiry of terminology and concept on system and management sciences. After every class, the participants assess the knowledge, the skill, and the competency/capability fostered by course activities, using the specified worksheet.</p>
注意事項	<p>○体験型講義は、教養教育院が社会人からのニーズ調査に基づき、社会人として国際人として真に求められる資質・能力を醸成する教育プログラムを、担当講師、受講生、修了生が協働して開発を進めています。</p> <p>○思考と想像する力を育む場である「エース・ラボS」に実施するため、収容数に限りがあります。</p> <p>○「伝わるように伝える力」を鍛えるワークショップでは、業界の専門職業人と大学が協働で実施します。</p> <p>※講師の都合により、本講義は7月中旬から8月上旬の水曜日午後、隔年開講を予定しています。詳細は掲示等で確認してください。</p> <p>※アドバンスコースとして、体験型講義3「チーム・ビルディング」で総合力を培い、体験型講義4「エンployアビリティ」で博士後期課程に繋がる実践力を身につけます。</p> <p>○The workshop course bases itself on the Institute of Liberal Arts and Sciences' needs assessment survey of working adults, and its educational programs – which foster competency or capability truly asked of a working adult and a global citizen – are developed through collaboration of lecturers and current and past students.</p> <p>○This course has limited capacity as it is held in "Ace Lab. S," a place to foster one's capacity for thinking and imagination.</p> <p>○The workshop for the training of "ability to convey information to be understood" will be delivered in collaboration with industry professionals and the university.</p> <p>※Due to instructor's reason, this course is scheduled to be held on Wednesday afternoons between mid-July to mid-August at least every other year. Please check the bulletin for details.</p> <p>※As continuation of this workshop, students will take advance courses Workshop 3 "Team Building" to foster their ability for integration and Workshop 4 "Employability" to acquire practical skills that are relevant to the doctorate program.</p>
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	

授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>
---------	---



学部・大学院区分	大学院
科目区分	他専攻等科目 Other Major Courses
科目名【日本語】	体験型講義「チーム・ビルディング」
科目名【英語】	Workshop for Team Building Development
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	栗本 英和 ○
担当教員【英語】	KURIMOTO Hidekazu ○
単位数	2
開講期・開講時間帯	集中 その他 その他 Intensive Other Other

授業の目的 【日本語】	体験型講義は、研究分野の枠を超えて求められる、リーダーシップ、マネジメント、チーム・ビルディング等に関する基本概念を体験を通して習得すると同時に、事例分析や比較分析を通して基本知識を体系的に学修することを目的とします。
授業の目的 【英語】	This hands-on course enables students to acquire through their experience some foundational concepts that are relevant across different research areas, such as leadership, management, team building etc. At the same time, this course aims for the students to systematically acquire such foundational body of knowledge with the use of case studies and comparative analyses.
授業の達成目標 【日本語】	本講義では、文系学生と理系学生が1つの目標に向かい、創意工夫、試行錯誤、協働作業を通して、問題の原因追求、解決するための目標や計画の策定、費用と性能と開発費の配分、問題を未然防止するための方策、仮説と検証、根拠に基づいた思考、継続的な改善などを学びます。これらを通して、「わかる」人から「できる」人になるための動機づけを図ります。 また、異分野チームをどのように形成してゆくのか、価値観や文化が異なるチーム・ビルディングを疑似体験します。こうした体験から、専門的知識の長所・短所に気づき、その活かし方から、現実課題に取り組むチーム・サイエンスを学びます。
授業の達成目標 【英語】	In this course, arts and sciences students work towards the one goal. Through the process of coming up with original ideas, trial-and-error and collaboration, students will learn about cause analysis of a problem; goal setting and planning for problem solving; distribution of expenditures, capacity and development cost; policies to prevent problems; hypothesis and verification; evidence-based thinking; and continuous improvement. These experiences are intended to motivate students to go from “understanding” these concepts to becoming capable of “implementing” them. Furthermore, in order to learn how to form an interdisciplinary team, students will have a pseudo-experience of building a team consisting of members with different values and cultures. From such an experience, students will gain an awareness of the strengths and weaknesses of one's expert knowledge, and gain an understanding of team science that is applicable to real-life problems by making use of this awareness.
教科書	講義のなかで示します。 Indicated during the lecture.
課外学修等	講義で扱うマネジメントやシステムに関する用語及び概念を事前に調べ、準備をしておく。学修活動を通して身につけた資質・能力を、所定のワークシートを用いてアセスメントする。 Self-assessment for activities of this coursework from viewpoints of capabilities on analysis, communication, and discernment (60%), Active attitude and involvement in the workshop (40%) Grading is based on the six-grade evaluation defined by university regulations.
注意事項	○体験型講義は、教養教育院が社会人からのニーズ調査に基づき、社会人として国際人として真に求められる資質・能力を醸成する教育プログラムを、担当講師、受講生、修生が協働して開発を進めています。 ○思考と想像する力を育む場である「エース・ラボS」で実施するため、収容数に限りがあります。 ○実施するワークショップは民間企業の研修プログラムに相当する内容を、大学院版に内製化し実施します。 ※毎年、9月最終週の月曜日、木曜日、金曜日に開講しています。詳細は掲示等で確認してください。 (2021年度は、9月21日、29・30日を予定) ※アドバンスコースとして、体験型講義3「チーム・ビルディング」では総合力を、体験型講義4「エンプロイアビリティ」では博士後期課程で求められる実践力を身につけます。 ○The workshop course bases itself on the Institute of Liberal Arts and Sciences' needs assessment survey of working adults, and its educational programs – which foster competency or capability truly asked of a working adult and a global citizen – are developed through collaboration of lecturers and current and past students. ○This course has limited capacity as it is held in “Ace Lab. S,” a place to foster one's capacity for thinking and imagination. ○This workshop takes contents of corresponding training programs implemented in private enterprises and adapts them to the context of a graduate program. ※This class is held each year on the Monday, Thursday and Friday in the last week of September. Please check the bulletin for details. ※As continuation of this workshop, students will take advance courses Workshop 3 “Team Building” to foster their ability for integration and Workshop 4 “Employability” to acquire practical skills that are relevant to the doctorate program.
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	

授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>
---------	---

学部・大学院区分	大学院
科目区分	他専攻等科目 Other Major Courses
科目名【日本語】	大学教員論
科目名【英語】	Preparing Future Faculty
使用言語	日本語
担当教員【日本語】	丸山 和昭 ○
担当教員【英語】	MARUYAMA Kazuaki ○
単位数	2
開講期・開講時間帯	集中 その他 その他 Intensive Other Other

授業の目的 【日本語】	教育学における高等教育に関する諸課題に対して関心を高め、文献やそれにもとづく議論を通して高度な専門的知識を習得することを目的とする。  将来高等教育機関の教員になろうとする大学院生等が教員になるための基礎的な知識と技能を学べることを目的とする。
授業の目的 【英語】	The purpose of this course is to get interest about some problems of higher education as well as highly level of specialized knowledges.  The purpose of this course is to provide graduate students and others who intend to become teachers in higher education institutions with the basic knowledge and skills to become teachers.
授業の達成目標 【日本語】	この授業が終了したときに、受講者のみなさんが以下のような知識や能力を身につけることを目標にします。 ・大学の成り立ちや大学教員の職務について理解する ・大学という組織で働くために必要な知識、スキルを身につける ・授業で得た知識、スキルをもとに、自身の今後の学修やキャリア設計を進めることができる ・多様な考え方や経験で培った事例を尊重し、共に教え学びあう雰囲気貢献する。
授業の達成目標 【英語】	The purpose of this course is as follows. 1. to understand the process of establishing universities and the roles of professors. 2. to get knowledge and skills for working in universities as professors. 3. to make plans for studies and academic careers based the knowledges and skills which you get through this course. 4. to contribute to make atmosphere to learn each other.
教科書	夏目達也、近田政博、中井俊樹、齋藤芳子(2010)『大学教員準備講座』玉川大学出版部(2400円)
課外学修等	授業において必要となる資料の読み込みや、資料の作成が、課外学習として必要になります。 詳細な課外学習の内容は、授業の際に示します。
注意事項	授業は双方向型になるように務めます。授業への積極的な参加を求めます。
本授業に関するWebページ	
担当教員からのメッセージ	
授業開講形態等	<a href="https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/">https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/2021-spring-implementation/</a>